

地方創生推進交付金 [令和2年度実施事業調書]

資料4

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	H30年度1年目	R1年度2年目	R2年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	委員意見	
事業名: 「はこだて還流プロジェクト」 事業期間: 平成30年度～令和2年度(3か年)													
1	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>・基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます(施策)⑦移住・定住を検討している方への魅力発信</p> <p>【事業目的】 次代を担う子どもたちに、まちに対する誇りや地域愛を醸成し、地元に残り主体的に地域を支えるような人材を育てていくほか、IT企業の誘致による雇用の場の確保に努めつつ、IT技術者をはじめとしたI・J・Uターン移住者・定住者の確保につなげていく。</p> <p>【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	34,395	17,196	①移住相談による移住者数(単年度実績)	—	26人	26人	26人	78人	C 効果あり	C 事業期間終了	KPIの最終目標を達成できていないものもあるが、③移住相談件数については、新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住の人気の高まりを反映し、増加したものと考えている。 移住・定住に向けた施策は人口増加策として重要であることから、交付金の事業期間終了後も継続して取り組んでいく。	

【内部評価】 ※国の実施報告の選択肢 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「はこだて還流プロジェクト」令和2年度実施事業内訳

事業名	R2実績額(千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金充当額	
計	34,395	17,196	
小・中学生および高校生向けワークショップの開催	32	16	[概要]ワークショップを通じて、まちの魅力を再発見し、次世代へ継承できる人材を育てる。 ○「はこだてデジタル地図でまちあるき〜たどって・かさねて・みくらべる〜」開催
小学生向けオリジナル映像「たからのまちははこだて」周知イベントの開催	0	0	[概要]パネル展示・映像上映展の開催により、小学生向けオリジナル映像「たからのまちははこだて」に対する周知促進を図る。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により中止
移住検討者向けセミナーの開催	45	22	[概要]移住検討者を対象に函館での生活や仕事などを紹介するセミナーを開催する。(R2はオンライン開催のみ) ○「はこだて暮らし×リモートワーク」(1/23開催) ○「はこだて暮らし×しごと」(2/2開催)
IJUターン推進事業	1,661	830	[概要]若年層の首都圏等への転出などにより、市内企業においては、労働力人口の減少や人材不足の拡大が顕在化しているため、就職ポータルサイトにより、市内企業の紹介や求人情報を発信し、IJUターンによる人材確保の支援を行う。 ○令和2年度事業実績 ・有効求職者数:169人, 有効求人数:202人(71社,96件), 就職決定者数:6人
しごとフェスタ開催事業	330	165	[概要]就職や進学により首都圏等へ転出した新規学卒者は、就職や転職などの転職において、地元企業を知らないという理由から、Uターン就職に繋がらない傾向にあるため、高校1,2年生を対象に地元企業との接点を持つイベントを開催する。 ○令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止(企業紹介パンフレットを作成し,参加予定校に配布)
IT技術者人材育成支援補助金	6,442	3,221	[概要]立地IT企業が、社員に対し実施する研修費用の助成を行うことで、市内IT産業の高度化および雇用機会の創出を図る。(1社あたり500万円を上限に助成) ○交付対象:函館市に企業立地を行う者が,事業の実施に伴い新たに雇用する正規労働者等に対して行う研修等 ○助成上限額:常用雇用者1人あたり30万円・1社あたり単年度で500万円(最大5年間) ○直近の実績:(令和2年度)4社,助成額6,442千円
未来のIT人材育成推進事業	4,458	2,229	[概要]IT企業の集積による若者の雇用創出を目指し、首都圏IT企業の誘致や地元IT産業の振興に取り組んでいることから、市内の高等教育機関の学生やIT企業の社員が講師となり、小学生から高校生を対象にmonacaやScratch等を使用したプログラミング教室等を行うことで、将来的にIT技術者をめざす層の拡大を図る。 ○令和2年度 ・プログラミング教室:(開催回数)全12回,(参加者数)延べ293名 ・U-16プログラミングコンテスト:(開催日)令和2年10月25日,(会場)函館市亀田交流プラザ,(参加者数)17名
移住パンフレットの増刷	0	0	[概要]移住検討者向けパンフレット「函館暮らしが이드」の増刷を図る。 ※ 令和2年度について、対面形式での移住者向けイベントが実施できなかったことにより、在庫分で足りたため。
移住・定住専用Facebookページ作成・運用事務	627	313	[概要]移住検討者向けに公式Facebookを立ち上げ、移住情報のみならず、函館の季節情報やイベント情報も発信する。 ○記事制作,運営管理を委託
移住・定住の周知強化事業	1,502	751	[概要]東京有楽町にある全国の移住相談窓口が集う「ふるさと回帰支援センター」にブースを設置し、情報発信および移住相談(対応は北海道のどさんこ交流テラス職員)を行う。 ○ブース出展 ○ふるさと回帰支援センター年会費
イベント情報等の効果的な発信	19,298	9,649	【概要】イベント情報サイトおよび観光ポータルサイトを通じて、観光情報を発信し、本市の魅力向上に繋げる。 ○イベント情報サイト運営:(閲覧数) 652,946ページビュー ○観光ポータルサイト運営:(閲覧数)6,913,559ページビュー

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					今後の方向性		外部評価				
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R2年度1年目	R3年度2年目	R4年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	委員意見			
事業名: 「多文化共生社会の実現による外国人材いきいき活躍プロジェクト」 事業期間: 令和2年度～令和4年度(3か年)															
2	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します (施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>【事業目的】 地域に不足している働き手としての外国人材を受け入れ、外国人がいきいき活躍することにより、インバウンド受入体制の充実や外国人の新たな視点を取り入れたサービスの提供などにより、地域経済の活性化につなげていく。</p> <p>【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	5,478	2,738	①在住外国人の数 (前年度増加分実績)	1,055人	100人	100人	100人	300人	C 効果あり	ウ 事業継続	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による外国人の入国制限や、イベント等の中止・縮小によって、目標値の達成はできなかった。 しかしコロナ禍でも、日本語教室や交流事業等の参加希望者が定員を上回っていたことから、多文化共生の重要性を改めて確認できたため、ニーズの掘り起こしも行いながら、引き続き事業を実施し、外国人材の受入環境の整備等を推進する。</p>			
				②日本語教室の延受 講者数 (前年度増加分実績)	1,178人	100人	100人	100人	300人						
				③交流事業への外国 人参加者数 (前年度増加分実績)	90人	5件	5件	5件	15件						
				④外国人材受入支援 にかかるセミナーや交 流会などへの参加者 数 (前年度増加分実績)	15人	40人	20人	20人	80人						
						△ 66人	-	-	66人						
						△ 694	-	-	△ 694						
						△ 40	-	-	△ 40						
						△ 15	-	-	△ 15						

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「多文化共生社会の実現による外国人材いきいき活躍プロジェクト」令和2年度実施事業内訳

事業名	R2実績額(千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金充当額	
計	5,478	2,738	
日本語指導関係経費	251	125	函館市内において年々増加傾向にある日本語指導が必要な外国籍または日本籍の児童生徒に対し、対応が可能な団体を派遣し、日本語指導を行う。 令和2年度:対象者 3名
外国人労働者採用セミナー	0	0	[概要]外国人労働者の受け入れを検討する市内事業者に対し、在留資格の種類や制度の仕組み、雇用事例等に関するセミナーを開催することにより、外国人受入に関する正しい知識の習得と雇用環境の整備を促し、適切な外国人雇用につなげることを目的とする。 ○令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
外国人材受入事業者等との交流会	0	0	[概要]外国人の受入を検討している市内事業者に対し、すでに外国人材を受入れている事業所や管理団体に対し、膝をつき合わせてざっくばらんな意見交換をすることにより、外国人材の受入についての不安を軽減し、適切な外国人雇用につなげることを目的とする。 ○令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
コミュニケーション支援関係経費	1,169	584	[概要]在住外国人に対し、日本語教室や日本文化の体験(着付け、茶道等)や週末ホームスティを通じ日本語レベルの向上および日本文化への理解を促すとともに、「やさしい日本語」の普及・啓発に努める。 ○令和2年度実績 ・日本語教室 ・実施クラス:7クラス ・受講者数:延べ484名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により5月～7月開催分は中止 ・日本文化体験(着物を着てみよう!) ・日時:令和3年1月31日 ・会場:北海道国際交流センター ・参加者数:17名 (zoomで国際交流) ・日時:令和2年11月29日 ・会場:zoom ・参加者数:16名 ・やさしい日本語講演会 ・日時:令和3年2月23日 ・会場:zoomおよび北海道国際交流センター ・参加者数:31名
外国人が暮らしやすい地域社会づくり関係経費	4,058	2,029	[概要]在住外国人が本市で充実した生活を送ることができるよう、生活ガイドブックの多言語での作成や生活ルールのオリエンテーション・市民との交流イベントなどを実施する。 ○令和2年度実績 ・生活ガイドブック ・作成言語:5カ国語(英語・中国語・韓国語・ベトナム語・やさしい日本語) ・ヘルプデスク通訳者研修 ・日時:令和2年12月20日 ・会場:函館コミュニティプラザGスクエア ・参加者数:13名 ・オリエンテーションの実施 ・実施回数:3回 ・参加者数:30名 ・交流イベント(スポーツ交流会) ・日時:令和3年2月6日 ・会場:ふるる函館 ・参加者数:8名 (着物を着て初詣に行こう) ・日時:令和3年2月8日 ・会場:北海道国際交流センター ・参加者7名 (日本の子どもたちと一緒に食と音楽に触れよう) ・令和3年3月27日 ・会場:函館市地域まちづくりセンター ・参加者数:40名

No.	事業の概要	R2実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値					内部評価	今後の方向性		外部評価			
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R2年度1年目	R3年度2年目	R4年度3年目		KPI累計	理由	委員意見			
事業名:「水産・海洋に関するローカルイノベーション創出支援事業」 事業期間:令和2年度～令和4年度(3か年)															
3	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策) ③食を支える安心・安全な農水産物の生産・供給支援のほか、食の魅力を高め、多くのひとを呼び込み販路拡大につなげる支援 ④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>【事業目的】 国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市を形成することにより、産学官が連携しマリンサイエンス分野で世界をリードする研究成果や革新技術を生み出し、雇用の創出と産業経済の活性化を目指している。</p> <p>【令和2年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	3,441	1,720	<p>①事業推進主体が外部から獲得する競争的資金を活用したプロジェクト数(前年度増加分実績)</p> <p>②成果報告会の開催(前年度増加分実績)</p> <p>③事業推進主体と市の協働による水産・海洋に関する研究機関、企業への訪問、誘致(前年度増加分実績)</p> <p>④若手研究者と若手漁業者等の交流の場の開催(前年度増加分実績)</p>	-	1件	1件	1件	3件	C 効果あり	ウ 事業継続	一部、目標は達成できていないが、当該事業を進めたことにより、地域の大学や企業、漁業者との連携が強化され、現在、大型プロジェクトの採択に向けて準備を進めている状況にある。 今後、さらに連携を密にして、競争的資金を獲得し、地域振興のためイノベーション創出を目指す。			
					0件	-	-	0件							
				2件	0回	1回	1回	2回							
					0回	-	-	0回							
				3件	2件	2件	2件	6件							
					2件	-	-	2件							
						0件	1件	1件	2件						
						1件	-	-	1件						

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「水産・海洋に関するローカルイノベーション創出支援事業」令和2年度実施事業内訳

事業名	R2実績額(千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金充当額	
計	3,441	1,720	
新産業創出に向けた研究管理体制の強化	3,441	1,720	<p>[概要]新産業創出につなげる効果的な研究活動を行うために、国等から研究資金を獲得し、地域ニーズと研究シーズとをマッチングするような連携促進や、地域課題を選定・評価し、産学の研究機関の取りまとめや調整、研究の進行管理、予算執行管理などを一元的に行うことができる研究管理体制を強化する。</p> <p>○プロジェクトマネージャーの配置:1名(期間:令和2年8月～令和3年3月)</p>